

早稲田大学 教育学部  
2023年度 入試問題の訂正内容

<教育学部 一般選抜>

【世界史】

●問題冊子6ページ：設問2 (8) 選択肢 a

(誤)・・・ジブラルタルの領有を

(正)・・・セイロン島 (スリランカ)の領有を

●問題冊子8ページ：設問3 (5)

●問題冊子9ページ：設問3 問2

採点について

選択肢の記述に不適切な部分があったため、適切な解答に至らないおそれがあると判断しました。当該箇所の設問につきましては、解答の有無・内容にかかわらず、受験生全員に得点を与えることといたします。

以上

## 世 界 史

(問 題)

2023年度

〈2023 R05170015 (世界史)〉

## 注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

|         |      |      |      |
|---------|------|------|------|
| マークする時  | ● 良い | ○ 悪い | ○ 悪い |
| マークを消す時 | ○ 良い | ○ 悪い | ○ 悪い |

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

1 世界史上における人々の移動と移住について述べた以下の問1～3の文章を読み、下線部(1)～(13)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

問1 ギリシア世界では、イオニア人やドーリア人などのギリシア人が北方から移住して<sup>(1)</sup>、その後の古代ギリシア社会の礎を築いた。イタリア半島中部では、都市国家として始まったローマがその支配を順次拡大し、前3世紀には、西地中海を勢力圏としていたカルタゴ<sup>(2)</sup>と衝突するに至った。これに勝利したローマは、前2世紀半ばには、ほぼ地中海世界全域の覇者となった。トラヤヌス帝の時代に、ローマ帝国の版図はメソポタミアにまで広がり、最大となった。しかしすでに3世紀後半には明瞭になっていたゲルマン人の民族移動の時代<sup>(3)</sup>には、北の国境線を越えて多くのゲルマン諸部族がローマ帝国領内に移住し、476年の西ローマ帝国滅亡に至るのである。

(1) ギリシア人とその文明について、誤っている説明はどれか。

- a ギリシア人は、インド＝ヨーロッパ語系の民族である。
- b イオニア人は、クレタ文明（ミノア文明）と呼ばれる鉄器文明を営んだ。
- c ドーリア（ドーリス）人は、スパルタを建てた。
- d シュリーマンは、ミケーネ文明の遺跡を発掘した。

(2) この植民市を建てたフェニキア人が用いていた文字の特徴ではないものはどれか。

- a アラム文字から派生した。
- b アルファベットの起源となった。
- c セム語系言語の文字である。
- d 子音のみからなる表音文字である。

(3) これの一部を構成していた河川はどれか。

- a オーデル川
- b セーヌ川
- c テムズ川
- d ドナウ川

問2 北ヨーロッパを居住地とするヴァイキングは、8世紀以降、ヨーロッパ大陸各地へ進出し、その後の歴史に大きな影響を残した。なかでもユトランド半島を居住地とするデン人とその子孫たちは、フランスとイングランドのみならずイタリア半島にまで移住していった。<sup>(4)</sup>スカンディナヴィア半島西部のノール人（ノルウェー人）はアメリカ大陸まで到達している。<sup>(5)</sup>これに対して、ルーシとも呼ばれるスウェーデン系ヴァイキングは、スラヴ人居住地域において、いくつかの国々<sup>(6)</sup>を建国した。他方、フランク王国のカール大帝もスラヴ人地域への進出を本格化させていた。その後、12世紀からは東方植民と呼ばれるドイツ系の人々を中心とする移住が盛んにおこなわれて、東ヨーロッパ各地に新たな都市や農村が生み出された。<sup>(7)</sup>また、当時優勢だったローマ＝カトリック教会の影響下に、スラヴ世界の西ヨーロッパ化が進められていった。

(4) この時期の西ヨーロッパについて、正しい説明はどれか。

- a アルフレッド大王は、デン人の侵入を撃退し、イングランドを統一した。
- b クヌート（カヌート）は、イングランドを征服したのみならずノルウェーも支配した。
- c ヘースティングズの戦いで、ノルマンディー公ウィリアムはデン朝を滅ぼした。
- d ノルマンディーに進出したロロの子孫は、13世紀に両シチリア王国（ノルマン＝シチリア王国）を建てた。

(5) その後、ヨーロッパ人の進出が本格化する以前から営まれていたアメリカ先住民文明について、正しい説明はどれか。

- a テノチティトランは、マヤ文明の都市国家である。
- b 小麦の栽培を基礎とする農耕文化を営んだ。
- c 鉄器を用いなかった。
- d ユカタン半島では、アステカ王国が繁栄した。

(6) 東方植民によって生まれた国や領邦はどれか。

- a ハンガリー王国
- b ブランデンブルク辺境伯領
- c モラヴィア王国
- d リトアニア大公国

(7) 中世のローマ＝カトリック教会とキリスト教文化について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。

- ① 教皇ウルバヌス2世は、イェルサレム奪回のための十字軍とともに、アルビジョワ十字軍を提唱した。
  - ② 12世紀ルネサンスによってもたらされたアリストテレス哲学の影響下に、スコラ学が発展した。
- a ①－正 ②－正
  - b ①－正 ②－誤
  - c ①－誤 ②－正
  - d ①－誤 ②－誤

問3 大航海時代には、ヨーロッパ諸国は、帆船と火砲という技術によって、ヨーロッパの外への進出を本格化させた。

16世紀には、ポルトガルとスペイン<sup>(8)</sup><sup>(9)</sup>が先行するが、17世紀に入るとオランダとイギリス<sup>(10)</sup><sup>(11)</sup>、やや遅れてフランスが世界進出を競った。アメリカ大陸では、当初から植民地の獲得が目指されたのに対して、アジアでは、インド洋世界や東南アジア、中国などで産出ないし生産された物産の取引に参加することが中心だった。17世紀からは、アフリカ<sup>(12)</sup>もまた、黒人奴隷の供給地として、次第にヨーロッパ勢力が主導する経済圏<sup>(13)</sup>に組み込まれていった。

(8) ポルトガルの進出について、誤っている説明はどれか。

- a ヴァスコ＝ダ＝ガマはゴアを占領し、アジア貿易の拠点とした。
- b 東西交易で繁栄した港市国家であるマラッカ（ムラカ）王国を占領した。
- c マカオを拠点として、アジアでの交易を展開した。
- d 15世紀にセウタを攻略したが、同地はその後、スペイン領となった。

(9) 以下の航海者や探検家のうち、スペイン出身者は誰か。

- a アメリゴ＝ヴェスプッチ
- b カブラル
- c バルボア
- d マゼラン（マガリャンイス）

- (10) 近世のオランダとその海外進出について、誤っている説明はどれか。
- a オラニエ公ウィレム（オレンジ公ウィリアム）が、ネーデルラント連邦共和国の初代総督となった。
  - b ネーデルラント連邦共和国の独立は、ウェストファリア条約によって国際的に承認された。
  - c 台湾に進出したオランダ勢力は、清朝によって駆逐された。
  - d オランダ東インド会社は、ジャワ島のバタヴィアを中心的な根拠地とした。
- (11) 近世のイギリスとその海外進出について、誤っている説明はどれか。
- a 航海者ドレークは、私拿捕船を率いてスペイン勢力と戦いながら、世界周航を達成した。
  - b エリザベス1世を最後にテューダー朝は断絶し、スコットランド国王ジェームズ6世がジェームズ1世としてイングランド王位を継承した。
  - c イギリス東インド会社は、ボンベイ（現ムンバイ）、マドラス（現チェンナイ）、カルカッタ（現コルカタ）を拠点として活動した。
  - d 17世紀に、ケープ植民地をオランダから奪った。
- (12) 近世のアジアでの貿易について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① ヨーロッパ勢力に対抗するムスリム商人は、アチェ王国やマタラム王国などの港市をあらたな交易拠点とした。
  - ② スペインは、マニラとアカプルコを結ぶ航路により、中国産の絹や陶磁器、インド産の綿布を運ぶ一方、その支払いにはアメリカ大陸で産出した銀があてられた。
- a ①－正    ②－正                          b ①－正    ②－誤
  - c ①－誤    ②－正                          d ①－誤    ②－誤
- (13) アフリカの歴史全般について、正しい説明はどれか。
- a 約240万年前、アフリカにホモ＝サピエンスに属する新人が出現し、その後、全世界に拡散した。
  - b マリ王国は、サハラ砂漠産の岩塩とニジェール川流域産の金の交易で繁栄したが、ムラービト朝の攻撃を受けて衰退した。
  - c アフリカ大陸西岸のダホメ王国とベニン王国は、黒人奴隷交易で繁栄した。
  - d ヨーロッパ商人がアメリカ大陸やカリブ地域に連れ去った黒人奴隷は、優に1億人を超えていた。

- 2 スウェーデンを中心とするバルト海地域について述べた以下の文章を読み、下線部(1)～(12)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

19世紀初頭以降、スウェーデンは、中立ないし非同盟の立場を貫いてきた。だが、それは、スウェーデンが地政学的に恵まれた状況にあったためではない。むしろ、18世紀初頭から19世紀初頭にかけて起きた複数の戦争での敗北と、その中で国家主権を維持する必要に迫られたという歴史がそうした立場の背景にある。

スウェーデンの支配下にあった領域は、三十年戦争への参加によって獲得した西ポンメルンを含め、現在のエストニアやラトヴィアが位置するバルト海対岸にまで広がっていた。しかしまもなく、北方戦争での敗北により、スウェーデンはバルト海の覇権を失った。さらに、ナポレオン戦争でイギリス側について戦ったスウェーデンは、フランスと講和したロシア軍の進攻を受け、ロシアに領土の一部を割譲した。この領土は、1809年、ロシア皇帝を大公とするフィンランド大公国となり、ウィーン会議で正式にロシア帝国領として認められた。フィンランドが独立を果たしたのは、1917年のことであった。一方のスウェーデンは、デンマークからノルウェーを獲得し、1905年まで続く同君連合を形成した。

こうした戦争を経て、スウェーデンは、スカンディナヴィア半島の一部とその周辺の島々のみを領域とする国家となった。その後約100年の間に、北欧・バルト海地域が大きく揺れ動く中でもスウェーデンの立場の根本は変わらなかったが、ナポレオン戦争から200年余りの時を経て、非同盟の原則を見直し、NATO（北大西洋条約機構）への加盟を求めるなどスウェーデンの防衛政策は大きな変化を遂げるようになった。

- (1) 1970年代前半に、スウェーデンとアメリカの関係が冷却化した原因について、正しい説明はどれか。
- a キューバ危機が起こった。
  - b アメリカ合衆国がソ連を承認した。
  - c ベトナム戦争で、アメリカ軍がハノイを爆撃した。
  - d アメリカ軍がアフガニスタンを攻撃した。
- (2) こうした立場が影響している人物や国について、誤っている説明はどれか。
- a オーストリアのウィーンで、イスラエルとPLO（パレスチナ解放機構）が相互承認を表明したパレスチナ暫定自治協定への調印が行われた。
  - b ネルー・周恩来会談で、平和五原則が確認された。
  - c ユーゴスラヴィア大統領ティトーとエジプト大統領ナセルの呼びかけで、非同盟諸国首脳会議が開催された。
  - d ウィーン会議で、スイスの永世中立が認められた。
- (3) この戦争について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ①ベーメン（ボヘミア）王国への王による新教強制に対するカトリック教徒の反乱がきっかけとなった。  
②ウェストファリア条約で、アルザスがフランス領となった。
- a ①－正 ②－正
  - b ①－正 ②－誤
  - c ①－誤 ②－正
  - d ①－誤 ②－誤
- (4) 中世のバルト海・北海交易圏について、主な商品でないのはどれか。
- a 金
  - b 毛皮
  - c にしん
  - d 木材

- (5) この戦争の時期に起きた出来事でないのはどれか。
- a ピョートル1世が、ペテルブルクの建設を開始した。
  - b スペインのハプスブルク家が断絶し、フランスとオーストリアの戦いを経て、ブルボン家のスペイン王位継承が認められた。
  - c オーストリアが、ラシュタット条約でスペイン領ネーデルラントを獲得した。
  - d イギリス東インド会社軍が、フランスが支援するベンガル太守の軍を破った。
- (6) この戦争を題材に小説を書き、クリミア戦争にも参加した作家は誰か。
- a トウルゲーネフ
  - b ドストエフスキー
  - c トルストイ
  - d プーシキン
- (7) ロシア皇帝について述べた次の文を古い順に並べた場合、3番目はどれか。
- a エカチェリーナ2世が、クリミア半島に進出した。
  - b 後にニコライ2世として即位する皇太子ニコライが大津で切りつけられる事件が起こった。
  - c ナポレオン戦争に参加したロシア青年貴族士官らが、専制打倒を掲げて蜂起した。
  - d ナロードニキの一派「人民の意志」による皇帝爆殺事件が起きた。
- (8) この会議で変更された領土帰属について、誤っている説明はどれか。
- a イギリスが、ジブラルタルの領有を認められた。
  - b オーストリアが、北イタリア（ロンバルディア、旧ヴェネツィア共和国）を得た。
  - c ロシア皇帝が、ポーランド王を兼ねることになった。
  - d オスマン帝国が、ベッサラビアを獲得した。
- (9) 国家の独立一般について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① 旧ポルトガル領東ティモールが、インドネシアから独立した。
  - ② エンクルマ（ンクルマ）の指導のもと、ギニアが独立した。
- a ①-正 ②-正
  - b ①-正 ②-誤
  - c ①-誤 ②-正
  - d ①-誤 ②-誤
- (10) 複数の国が同一の君主の下に連合する同君連合でないのはどれか。
- a カルマル同盟
  - b リトアニア＝ポーランド王国
  - c オーストリア＝ハンガリー帝国
  - d 大ブリテン＝アイルランド連合王国
- (11) バルト・北欧諸国について、誤っている説明はどれか。
- a リトアニアが、独立国家共同体（C I S）に参加した。
  - b デンマークが、国民投票でマーストリヒト条約に反対した。
  - c 2008年の世界金融危機により、アイスランドの経済が危機に瀕した。
  - d 1972年、スウェーデンのストックホルムで国連人間環境会議が開かれた。
- (12) 軍事同盟について、誤っている説明はどれか。
- a 第二次世界大戦後、南北アメリカ地域の共同防衛と相互協力を約したリオ（リオデジャネイロ）協定が採択された。
  - b N A T Oが、ワルシャワ条約機構に対抗して設立された。
  - c 朝鮮戦争休戦後、米韓相互防衛条約が締結された。
  - d フランスは、ド＝ゴール政権下でN A T Oの軍事機構から脱退した。

3 テュルクの歴史について述べた以下の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、また波線部に関する問1～3について、それぞれa～dの選択肢の中から答えを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

「テュルク」とはトルコ系諸言語を話す人々の総称で、その代表とも言えるのがトルコ語を話すトルコ人である。しかしその他にもタタール人、ウイグル人等もまたテュルクである。今や中国からトルコ共和国まで広範囲に展開するテュルクだが、その歴史はきわめて古い。漢文史料で紀元前3世紀頃バイカル湖の南にいたという「丁零」<sup>(1)</sup>や、5世紀にモンゴル高原で活動した「高車」といった遊牧集団はテュルクであったとされている。

突厥<sup>(2)</sup>はテュルクが6世紀半ばに建てた大帝国である。その版図はモンゴル高原から中央アジアに至る。これを滅ぼしたウイグル<sup>(3)</sup>もまたテュルクの国で、8～9世紀にモンゴル高原を支配した。その一部は西に移動しオアシス地帯に独特の文化を生み出した。ウイグルの西進によって中央アジアはテュルク化が進み、テュルクの地を意味するトルキスタンと呼ばれるようになる。ここで彼らはイスラームと出会いイスラーム化が進んだ。中でもトルコ人は、マムルーク（軍人奴隷）としてイスラーム諸王朝の軍隊において重用され、自らが君主となる者も現れた。<sup>(4)</sup>

トルコ人がアラブ人、イラン人と並ぶ西アジアの主要民族としての地位を確立したのがセルジューク朝である。1071年ビザンツ帝国領のアナトリアに侵入し、この地のトルコ化・イスラーム化を促進した。13世紀末にはアナトリアの西北部でトルコ系の一集団が台頭し、14世紀の中頃バルカンに進出、1453年ビザンツ帝国を滅ぼして大帝国を築き上げた。オスマン帝国である。16世紀に最盛期を迎え、版図は西アジア、バルカン、北アフリカに広がった。そこには様々な宗教、言語を持つ人々がいた。<sup>(5)</sup><sup>(6)</sup>

しかし、19世紀になると、西欧から流入したナショナリズムの影響で、バルカンのキリスト教徒の諸民族に自立の機運が高まり、次々と帝国から分離していった。<sup>(7)</sup>こうした情勢下でトルコ人も民族的アイデンティティを自覚し、1908年の青年トルコ革命後に政権を担ったグループは、トルコ人を中心とする国家の形成をめざすが、第一次世界大戦に敗北し、オスマン帝国は消滅した。<sup>(8)</sup><sup>(9)</sup>

オスマン帝国に代わって誕生したのがトルコ人の国民国家としてのトルコ共和国である。新国家は世俗主義を掲げていたが、第二次大戦後民主化の流れの中でイスラーム系の政党が躍進した。現在トルコは、イスラーム世界と西欧を繋ぐ中東の主要な大国として存在感を高めつつある。<sup>(10)</sup>

(1) 丁零が紀元前3世紀末に服属していたのは次のうちどれか。

- a エフタル      b 匈奴      c 柔然      d スキタイ

(2) 突厥について、正しい説明はどれか。

- a 552年に鮮卑を倒して建国した。  
b 唐の離間策によって東西に分裂した。  
c 西突厥は7世紀半ばに唐に滅ぼされた。  
d 東突厥は一時唐に服属するが680年頃に復興した。

(3) ウイグルについて、誤っている説明はどれか。

- a ウイグル文字はモンゴル文字や満州文字の原型となった。  
b キルギスの侵入により840年に滅んだ。  
c ソグド人を介してマニ教を受け入れ信仰した。  
d 唐に支配されていたが744年に自立した。



- (4) トルコ系軍人がアフガニスタンに立てた王朝は次のうちどれか。
- a アイユーブ朝    b ガズナ朝    c カラハン朝    d サーマーン朝
- (5) セルジューク朝と同時代のイスラーム世界について、誤っている説明はどれか。
- a アッバース朝のトルコ系軍人が自立してホラズム＝シャー朝を建国した。  
b ウマル＝ハイヤームが『四行詩集（ルバイヤート）』を著した。  
c サラーフ＝アッディーンのエエルサレム奪回を契機に第3回十字軍がおこされた。  
d モロッコのマラケシュを首都としてムラービト朝が成立した。
- (6) オスマン帝国について、誤っている説明はどれか。
- a セリム1世は「二聖都（メッカ・メディナ）の保護者」としてスンナ派の盟主の地位を確立した。  
b スレイマン1世は2度ウィーンを包囲し、西欧諸国に「トルコの脅威」を実感させた。  
c 大建築家シナンによってスレイマン＝モスクが建てられた。  
d ムラト1世はバルカン領土を拡大し、エディルネ（アドリアノーブル）に都を置いた。
- (7) 次のうち最初に独立したのはどの国か。
- a アルバニア    b ギリシア    c モンテネグロ    d ボスニア・ヘルツェゴヴィナ
- (8) 青年トルコ革命について述べた①と②の正誤の組み合わせとして、正しいものはどれか。
- ① スルタンの専制に反対する青年将校らの要求で、アブデュルハミト2世は憲法の復活と自らの退位を承諾した。  
② ミドハト＝パシャが大宰相となり帝国議会が開かれた。
- a ①－正    ②－正    b ①－正    ②－誤  
c ①－誤    ②－正    d ①－誤    ②－誤
- (9) オスマン帝国の敗戦後、セーヴル条約によってフランスの委任統治下に置かれたのは次のうちどの地域か。
- a イラク    b シリア  
c トランスヨルダン    d パレスチナ
- (10) トルコ共和国の世俗化政策について、誤っている説明はどれか。
- a アラビア文字に代わってラテン文字を採用した。  
b イスラーム法に代わる新民法で一夫多妻制が廃止された。  
c イスラームを国教とする条項を憲法から削除した。  
d スルタン制とカリフ制を同時に廃止した。

**波線部の説明について以下の問1～3に答えなさい。**

現在トルコの外交は以下の3つのグループとの関係のバランスの上に成り立っている。

- (イ) 同じテュルクの中央アジア諸国  
(ロ) 信仰を同じくするイスラーム諸国  
(ハ) 政治・軍事的に同盟関係にあるNATO加盟諸国

問1 (イ)の中で、ティムール朝の首都だったサマルカンドがある国はどれか。

- a ウズベキスタン
- b カザフスタン
- c キルギス
- d トルクメニスタン

問2 (ロ)の中で、オスマン帝国の版図に含まれなかった国はどれか。

- a アラブ首長国連邦
- b オマーン
- c サウジアラビア
- d モロッコ

問3 かつてオスマン帝国の支配を経験した国や地域のうち、(ハ)に含まれないのはどれか。

- a セルビア
- b ハンガリー
- c ブルガリア
- d ルーマニア

- 4 唐とその影響を受けた近隣民族について述べた以下の文章を読み、下線部(1)～(12)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

唐は周辺地域の多様な要素を取り入れた国際性のある文化をつくりあげ、近隣の諸民族も唐から儒教・仏教・律令・漢字・都市プラン（都城制）などを適宜とりいれて固有の国家を設立したため、東アジア文化圏とも呼ばれるまとまりが生まれた。

チベットでは7世紀にソンツェン＝ガムボ王が統一国家を建て、その王国は子孫の時代に強大化し、安史の乱の際には一時は長安を占領するほどの勢威があった。経典を翻訳するためにインドの文字を基にチベット文字が作られ、やがてモンゴル、満洲にまで伝播するチベット仏教が生み出された。

朝鮮半島においては676年に新羅が統一政権を樹立し、唐の冊封を受け中央集権体制を作り上げ、仏教文化が栄えた。中国大陸東北部では7世紀に渤海が建国され、その都には長安の都市プランがうつしとられた。

唐の衰退・滅亡とともに、唐と建国時期の近い古代チベット、新羅も衰退し、北方の諸民族は攻勢を強めた。10世紀初め耶律阿保機は諸部族を統一して皇帝を称して遼を建て、五代の後晋から燕雲十六州を奪い取るなど華北へ勢力をのばしていった。黄河上流域では1038年にチベット系の遊牧民であるタングートの李元昊が、東西貿易の要衝を押さえて西夏をたて、ここではインド・チベット由来のチベット仏教が栄えた。

- (1) 唐の多様性について、正しいものを選びなさい。

- a 阿倍仲麻呂が太宗に重用された。
- b 祇教とはマニ教の中国名である。
- c ササン朝の滅亡時に多くのイラン人が長安に移住した。
- d 大秦景教流行中国碑は漢字とラテン文字で刻まれている。

- (2) 仏教について述べた次の文①と②の正誤の組み合わせとして、正しいものはどれか。

- ① 経典を求めてインドに行った法顕はその著『仏国記』の中でヴァルダナ朝のハルシャ王を「超日王」と記した。
  - ② クシャーナ朝のカニシカ王は衆生の救済を重視する大乘仏教を保護し、クシャーナ朝の下、ヘレニズム文明の影響を受けた仏像がうみだされた。
- a ①－正 ②－正
  - b ①－正 ②－誤
  - c ①－誤 ②－正
  - d ①－誤 ②－誤

- (3) この乱による国土の荒廃を詠んだ「春望」の作者で詩聖と呼ばれたのは誰か。

- a 王維
- b 杜甫
- c 白居易
- d 李白

- (4) チベット仏教について、誤っている説明はどれか。

- a アルタン＝ハンはソナムギャムツォにダライラマ号を奉呈した。
- b ツォンカバがチベット仏教界を刷新しゲルク派（黄帽派）の開祖となった。
- c 1959年にチベットで反中国運動が起こり、ダライラマ13世はインドへの亡命を余儀なくされた。
- d フビライ＝ハンがチベット僧パスパに命じて文字（パスパ文字）を作らせた。

- (5) 朝鮮半島の統一に関する以下のことがらを古い方から時代順に並べた場合に、3番目に来るものはどれか。
- a 新羅により加耶諸国が減ぶ。
  - b 唐と新羅の連合軍により百済が減ぶ。
  - c 唐と新羅の連合軍により高句麗が減ぶ。
  - d 白村江の戦い。
- (6) 渤海について、誤っている説明はどれか。
- a 「海東の盛国」と呼ばれた。
  - b 広開土王の時代に隆盛に向かった。
  - c 高句麗の遺民とツングース系の靺鞨人を統合した国家であった。
  - d その領域は現在の中国、ロシア、北朝鮮にまたがっていた。
- (7) 渤海の都はどれか。
- a 開京
  - b 漢京
  - c 上京龍泉府
  - d 上京臨潢府
- (8) 唐の衰退・滅亡について、正しい説明はどれか。
- a 江南と華北を結ぶ大運河の造営に徴発された農民が困窮した。
  - b 塩の密売人が起こした黄巾の乱が全国に広がった。
  - c タラス河畔でウマイヤ朝軍に敗れた。
  - d 有力な節度使が地方で自立の勢いを示した。
- (9) 新羅について、誤っている説明はどれか。
- a 王族から平民までを五等級に分けて社会生活を規制した。
  - b 唐から楽浪郡と帶方郡を奪った。
  - c 朝鮮半島東南部の辰韓の地に成立した。
  - d 仏教が栄え、金城に仏国寺が建てられた。
- (10) 遼について、誤っている説明はどれか。
- a 契丹文字は漢字をもとにつくられた大字とウイグル文字の影響を受けた表音文字系の小字からなる。
  - b 契丹(キタイ、カタイ)は中国を指す呼称としてイスラーム圏・ヨーロッパに伝わった。
  - c 遊牧民には猛安・謀克制を、農耕民には州県制を適用した。
  - d 11世紀の初めに宋に毎年多額の銀や絹を送らせる澶淵の盟をむすんだ。
- (11) 燕雲十六州の燕雲とは燕州と雲州のことであるが、雲州は以下のどれか。
- a 興慶
  - b 開封
  - c 大同
  - d 遼陽
- (12) 西夏について、誤っている説明はどれか。
- a 王室の李姓は唐の王室の姓をもらったものである。
  - b 漢字の影響をうけた西夏文字により仏典を翻訳した。
  - c チンギス=ハンに滅ぼされた。
  - d ホラズム朝と対立しつつパミールの東西のトルコ人勢力をまとめた。

[以下余白]